

6-3 コミュニティバスの導入

コミュニティバスの新規導入を検討するに当たり、必要に応じて以下のような分析を行うことが考えられる。

- (1)対象地域住民の公共交通へのニーズの把握
- (2)公共交通カバーエリア内人口の把握
- (3)目的別出発時刻の把握
- (4)公共施設とバス路線網の関係の把握

(1) 対象地域住民の公共交通へのニーズの把握

①分析の視点

アンケートを行い、バスサービスへの不満など公共交通へのニーズを把握する。不便を感じているという回答が多い地域は、コミュニティバスの潜在需要が高いことが想定される。

②方法

利用者意識調査の結果を集計することで算出する。設問項目は、以下のようなものが考えられる。

- ・ 普段の移動手段に対して不便を感じていること
- ・ 移動手段が便利になった場合の外出意向
- ・ 無理なく歩ける距離

等

③分析に必要なデータ

- ・ 利用者意識調査

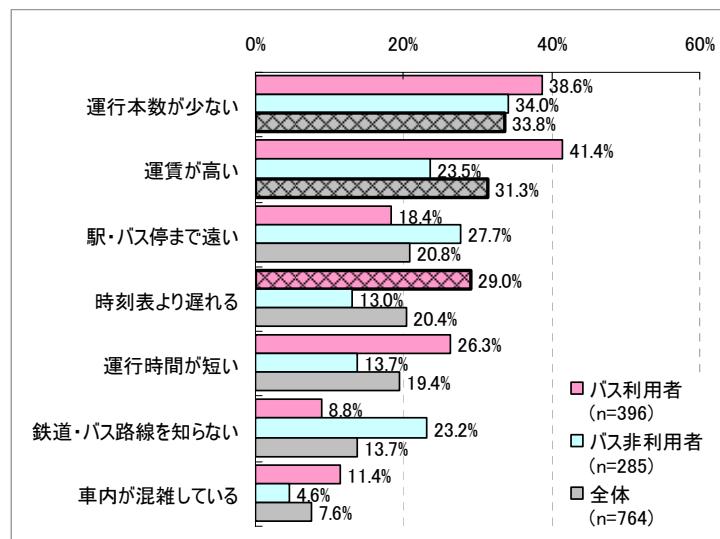


図 6-9 バスに対して不便に感じていることの集計結果(イメージ図)

(2) 公共交通カバーエリア内人口の把握

①分析の視点

現況の鉄道駅およびバス停から一定距離以内の地域をカバーエリアと定義する。そのエリア内に含まれる人口を算出することで、現況の公共交通カバーエリア内人口を把握する。カバーできていない地域では、公共交通の潜在需要が高いことが想定される。

②方法

公共交通サービス圏域をバス停と鉄道駅から一定距離と定義し、その圏域内の人口を集計する。

サービス圏域の設定は、表 9-3 公共交通サービス圏域の設定事例を参照されたい。

③分析に必要なデータ

- ・ 鉄道駅およびバス停の位置情報
- ・ 人口データ（国勢調査等）

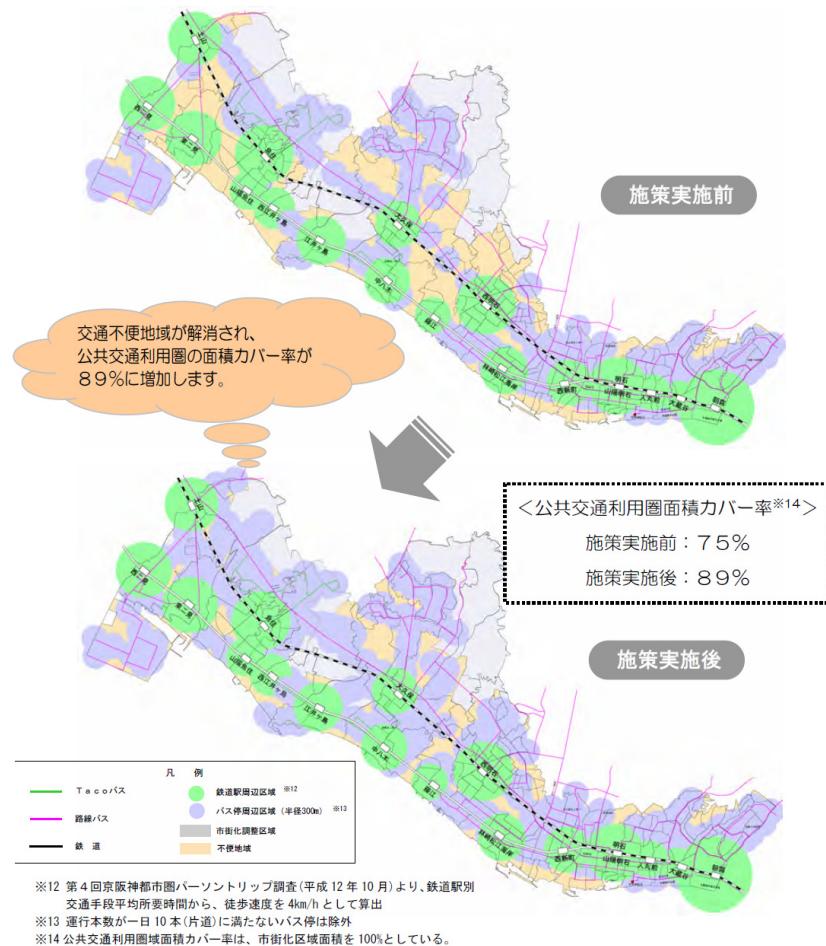


図 6-10 公共交通カバーエリア内人口(イメージ図)

(3) 目的別出発時刻の把握

①分析の視点

特に高齢者、非免許保有者、学生などのコミュニティバスの利用意向が比較的高いと想定される属性を対象に、目的別出発時刻分布を把握する。移動が多い時間帯にコミュニティバスの需要が高いと想定される。

②方法

年齢階層別（自動車免許の有無別、職業別など）目的種類別発時刻別トリップ数を集計し、構成比を算出することで、目的別出発時刻分布を算出する。

③分析に必要なデータ

- ・ 都市圏 P T 調査
- ・ 特定目的 P T 調査（特定地域限定型、全域小サンプル型）

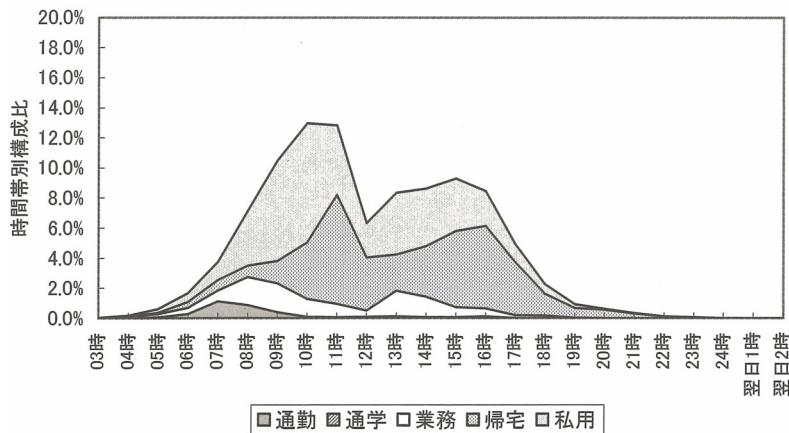


図 6-11 高齢者の目的別出発時刻分布(イメージ図)

(4) 公共施設とバス路線網の関係の把握

①分析の視点

公共施設分布とバス路線網を把握することで、公共施設に行くための公共交通サービスが不足している地域を検討することができる。

②方法

地図上に公共施設の位置とバス路線網を図示することで、公共施設とバス路線網の位置関係を把握し、公共施設のアクセス性を確認する。

③分析に必要なデータ

- ・ 公共施設の位置情報
- ・ 路線バスの路線網図

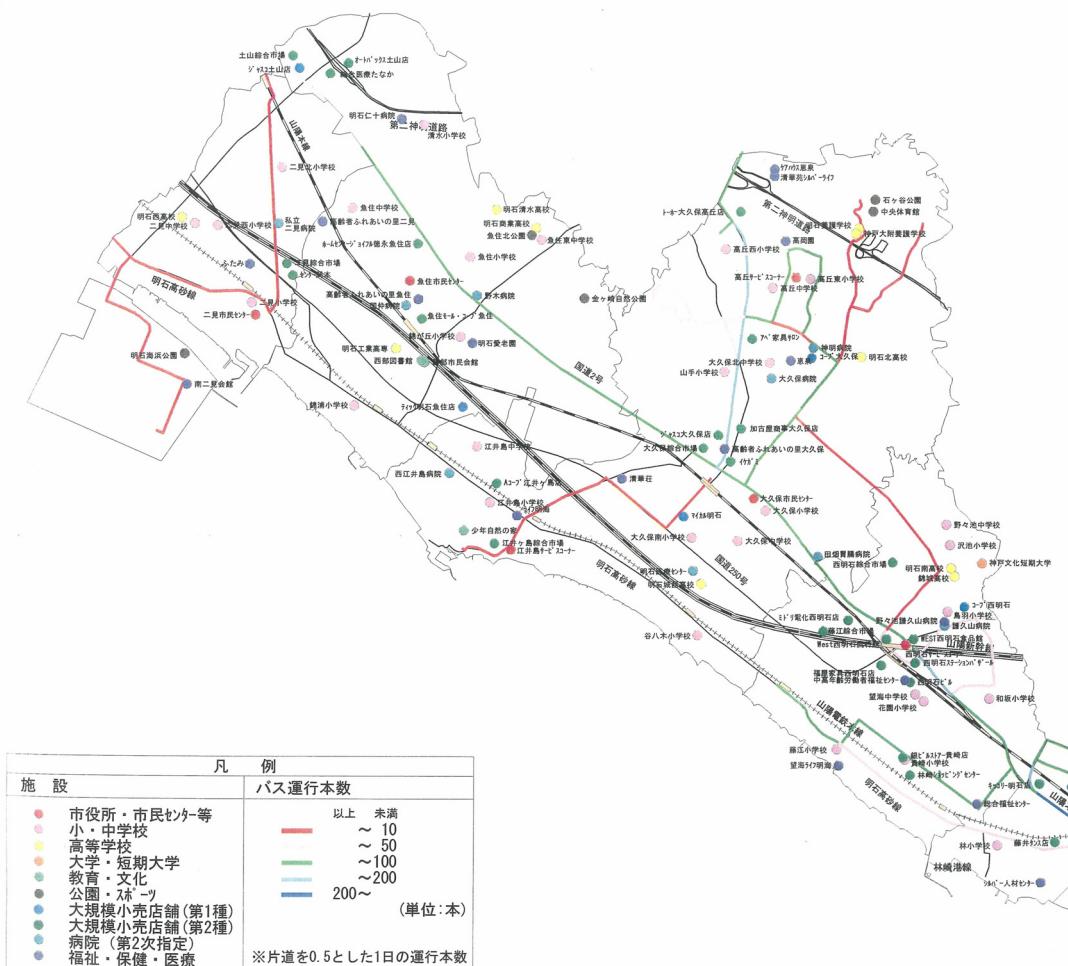


図 6-12 公共施設分布とバス路線網(イメージ図)